

-中国時事-

知財、経済、社会、政治の今



知財

北京知的財産取引センターが設立

9月9日、北京知的財産取引センターが設立された。同センターは、科学技術成果の実用化の促進、国境を越えた知的財産権の取引やベンチャー企業の融資へのサポート、全国範囲での知財取引プラットフォームの構築を目標としている。

<http://news.sina.com.cn/c/2020-09-09/doc-iivhuipp3425695.shtml>

EU-中国との地理的表示 (GI) 保護協定に署名

欧州委員会が、9月14日、EUと中国が、地理的表示 (GI) を保護する協定に署名したと発表。EU 農産・食品への依存が世界3位 (GI 対象産品に至っては世界2位) の中国では EU の特定食品・飲料への需要が高いことから、EU は今回の協定を機に、EU 産の食品やワイン・スピリッツなど酒類の中国保護だけでなく、その輸出のさらなる拡大も狙うという。

<https://www.jetro.go.jp/biznews/2020/09/d7f670521f2553fe.html>

中国-初の商標巡回評審廷

昨年9月に中国の上海市、義烏市、南京市で行われた商標無効案件巡回審理に対する好評を受け、9月22日、中国専利局商標局は、北京圏外の商標評審案件の巡回審理の強化を目的とする初の巡回評審廷 (商標審査上海協働センター内) の設立を公表した。上海巡回評審廷の設立により、上海およびその周辺地域における商標保護のさらなる強化、ビジネス環境の最適化、経済発展の促進が期待される。

sbj.cnipa.gov.cn/gzdt/202009/t20200922_321874.html

「ダブルサイクル」新発展枠組への助力 - 化粧品業界の商標登録を支援

9月17日、CNIPA が化粧品業界向けの商標登録セミナーを行った。化粧品消費量が世界2位の中国では、6月現在、化粧品関連商標の有効登録件数が約857,000件で、うち、有効登

録商標総数の3%を占めているが、商標出願等のさらなる潜在性がさらに見込まれている。

また、本年末までに平均審査期間を現在の4ヶ月半から4ヶ月内に、登録までの平均期間を現在の8~9ヶ月から更に短縮させる目標や、化粧品関連商標の類否判断の基準、出願および権利行使上の注意点および戦略等も、紹介されている。

sbj.cnipa.gov.cn/gzdt/202009/t20200918_321775.htm

経済

中国—2020年8月の輸出が前年比+9.5%、1年半ぶり高い伸び

中国税関総署が9月7日に発表したデータによると、8月の輸出高は、対前年で9.5%増となり、2019年3月以来の伸びを見せ、貿易取引国との間で新型コロナウイルス対策による制限が緩和される動きも広がり、中国の景気回復を一段と後押しした模様。一方、米中第1段階貿易協定の約束を果たすべく、米国から農糧食産品を過去最多に購入しているにもかかわらず、総輸入は2.1%減少している。

http://www.xinhuanet.com/fortune/2020-09/07/c_1126462387.htm

<https://jp.reuters.com/article/china-trade-august-idJPKBN25Y0AM>

2020年中国民营企业の売上高、ファーウェイが5年連続で1位

9月10日、中華全国商業連合会より「2020中国民营企业上位500社の調査分析報告」が公表された。同報告では2019年財務データベースに集計された売上高ランキングが発表されている。情報機器大手の華為投資控股(ファーウェイ)が8,588億3,300万元(約12兆8,825億円、1元=約15円)で、5年連続の1位となった。一方、米中貿易摩擦などビジネス環境に関するアンケート調査(中国国内500社対象)の結果には、輸出コスト(関税等)増、輸出減や事業縮小、米国における事業環境の不穏要素、米中貿易摩擦の深刻化など、不安の声も上がっている。

<https://www.jetro.go.jp/biznews/2020/09/92a754c01497fd1a.html>

上海汽車集団の燃料電池車、25年までに年産1万台へ

2020年9月16日、中国自動車最大手の上海汽車集団は、水素燃料電池車(FCV)を2025年までに少なくとも10モデル発売し、1万台以上の生産・販売規模を目指す目標を発表した。同社は、これまでFCVに450億円超を投入し、燃料電池分野で特許を511件取得、燃料電池に関する国家標準15件の策定にも積極的に関わってきた。

<https://www.afpbb.com/articles/-/3304777>

モーターショー2020 開幕

9月下旬、第16回北京モーターショーが開催された。例年通り多くの日本企業が参加している中、ホンダが「全方位 ADAS」および無線アップデート可能な「ホンダコネク」が実装された運転支援システムを搭載した量産型の電気自動車モデルを世界初公開。対して、日産は中国市場に向けて2025年までにe-POWER搭載車等の9モデルの投入、2022年までに運転支援システム搭載の5車種の拡大投入を計画しているという。また、車メーカー以外のヤマハは、音質向上版スピーカーユニット、空音場創生、加速音演出などの技術を盛り込んだ自社製カーオーディオが、吉利グループのブランド車「Lynk & Co」に搭載されると発表。

<https://monoist.atmarkit.co.jp/mn/articles/2009/29/news044.html>

社会

2020-中国消費促進月間が北京でスタート

9月8日夜、「全国消費促進月間」が北京でスタートした。消費の促進を目指すと同時に、新型コロナウイルス感染予防・抑制が常態化している中で、新形態の消費の出現や、節約重視、消費市場の全面回復など、積極的シグナルの発信が目標とされている。一方で、中国国内の景気低迷、収入減などの情勢も覗える。

https://news.china.com/zw/news/13000776/20200909/38728815_1.html

<http://japanese.cri.cn/20200909/b7aa4d29-5040-5728-26a4-b3e027a84b99.html>

中国-2020年秋の求人報告書

9月28日、中国大手求人サイトより、「2020年秋・中国雇用主ニーズとホワイトカラー人材の供給に関する報告」が公表された。同報告によると、主に超大型都市の大手・国営・上場企業から提示された給与額の全国平均が13万円以上に上り、提示額14.7万円の外資系企業も存在するという。主要都市の社会経済活動が正常状態に戻りつつあると評価されるが、報酬提示額や求人倍率といった表象の反面に、雇用率/失業率のデータが上がっていないようだ。

<http://j.people.com.cn/n3/2020/0929/c94476-9765751.html>

本内容についてご不明点・ご質問等ございましたら、
下記の担当者まで遠慮なくお問い合わせ下さい。

【連絡先】 特許業務法人 HARAKENZO WORLD PATENT & TRADEMARK

外国専門部長：岡部 泰隆（大阪本部在籍）

中国支援室長：孫 欧（大阪本部在籍）

TEL：06-6351-4384（代表）

E-Mail：iplaw-osk@harakenzo.com

【免責事項】

当事務所は、本資料のコンテンツの正確性に努めておりますが、これを保証するものではありません。

当事務所は、本資料のご利用により生じた損害・損失について、一切の法的責任を負いません。

【無断複製・転載禁止】

本資料は著作権法で保護されています。無断複製や転載は固くお断りいたします。

特許業務法人 HARAKENZO WORLD PATENT & TRADEMARK, All rights reserved.

【ウェブサイト・facebook】

当事務所のウェブサイト・facebook も、国内外の知的財産に係る有用な情報を随時発信しております。
是非ご参照下さい。

<総合ウェブサイト> :<http://www.harakenzo.com>

<商標専門サイト> :<http://trademark.ip-kenzo.com>

<意匠専門サイト> :<http://design.ip-kenzo.com>

<法務部 facebook> :<https://www.facebook.com/HARAKENZO.LegalDepartment>

<広島事務所 facebook> :<https://www.facebook.com/HARAKENZO.Hiroshima>

※facebook につきましては、ユーザ名「Harakenzo」で検索頂ければアクセス容易です。